

会 告

平成16年2月
物理探査学会

「二酸化炭素の地層隔離に関するフォーラム」開催のお知らせと参加者募集

地球温暖化の要因の一つである大気中の二酸化炭素(CO₂)を削減しようという活動は、さまざまな分野で活発化していますが、その中でも、地下深部地層内に圧入することによりCO₂を隔離する“地中貯留”や炭層内に圧入してメタンと置換する“炭層固定”は有力な手法と考えられており、国内でも幾つかの機関が研究を行っています。このような技術の開発・実施には物理探査の貢献性が大きいと考えられ、本学会としても積極的に技術的研究・開発を行っていくと同時に、会員に対する啓蒙、ビジネスチャンス発掘の援助などを行っていく必要があると考えます。そこで、CO₂の地中貯留、炭層固定の研究・開発を行っている機関と物理探査学会会員との交流を深める目的で、本交流フォーラムの開催を企画しました。

記

(1) 開催日 平成16年3月29日 (月)

(2) 開催場所 財団法人 電力中央研究所 我孫子研究所 研修会館
〒270-1194 千葉県我孫子市我孫子1646
(JR常磐線我孫子駅からタクシー7分)

<<会場案内 → [<u>http://criepi.denken.or.jp/jpn/abiko/howtogo/howtogo.html</u>>>](http://criepi.denken.or.jp/jpn/abiko/howtogo/howtogo.html)

(3) プログラム

午前の部 (10:00~13:00) : CO₂地中貯留

1. 全体概要 大隅多加志 (RITE)
2. 国内事例
岩野原実験とモニタリング 本江誠治 (エン振協)
地熱地域へのCO₂地中貯留実験 海江田秀志 (電力中央研究所)
3. 海外事例 "An overview of worldwide activities in CO₂ sequestration, and Schlumberger's work in this area" Kamel Bennaceur, T. S. Ramakrishnan (Schlumberger)

午後の部 (14:00~17:10) : CO₂炭層固定

1. 全体概要 芦田譲 (京都大学)
2. 技術開発動向 武藤成生 (KANSO)
3. 基礎研究
基礎理論 向井 紳 (京都大学)
シミュレーション 山口伸次 (秋田大学)
室内実験 大賀光太郎 (北海道大学)
4. 現場実験「夕張での現場予備実験」 藤岡昌司 (JCOAL)

電力中央研究所設備見学会および懇親会

(注：諸事情により、講師等について若干変更の可能性あります)

(4) 対象

物理探査学会員であるか否かを問わず、CO2の地中貯留、炭層固定に興味のある方なら
どなたでも参加可能です。

(5) 参加費

フォーラム： 一般 7000円
 学生 2000円
懇親会： 一般・学生 3000円

(6) 募集定員：100名（先着順）

(7) 申込方法

① 下記申込書を添えて

〒143-0027 東京都大田区中馬込2-2-18サンエスビル 物理探査学会

Tel/Fax 03-3774-5858

までお申し込み下さい。ご不明の点をご遠慮なくお問い合わせ下さい。

② 申込の受付後、参加費の請求書、参加証、詳細プログラム、交通の案内等を郵送いた
します。

- ・ 参加には参加証が必要です。フォーラム当日に忘れずにご持参下さい。
- ・ 納金された参加費は原則として返却しませんので、ご承知下さい。

③ 申込締切り日 平成16年3月19日（金）

ただし、定員になり次第、先着順で受け付けを締切らせていただきます。

以上

切り取り線

受付日時

受付番号

「二酸化炭素の地層隔離に関するフォーラム」参加申込書

所属団体名： _____

住所： _____

Tel： _____ Fax： _____

(一般/学生および会員/非会員の適合する方を○で囲み、受講希望日に○を付けてください)

所属部課	氏名	一般/学生	会員/非会員	フォー ラム	懇親 会		備考
		一般/学生	会員/非会員				
		一般/学生	会員/非会員				
		一般/学生	会員/非会員				
		一般/学生	会員/非会員				
		一般/学生	会員/非会員				
計 名	総計金額	円	担当者氏名	印			

(注：担当者氏名欄には申込後の連絡先となる方のお名前を記入して下さい)